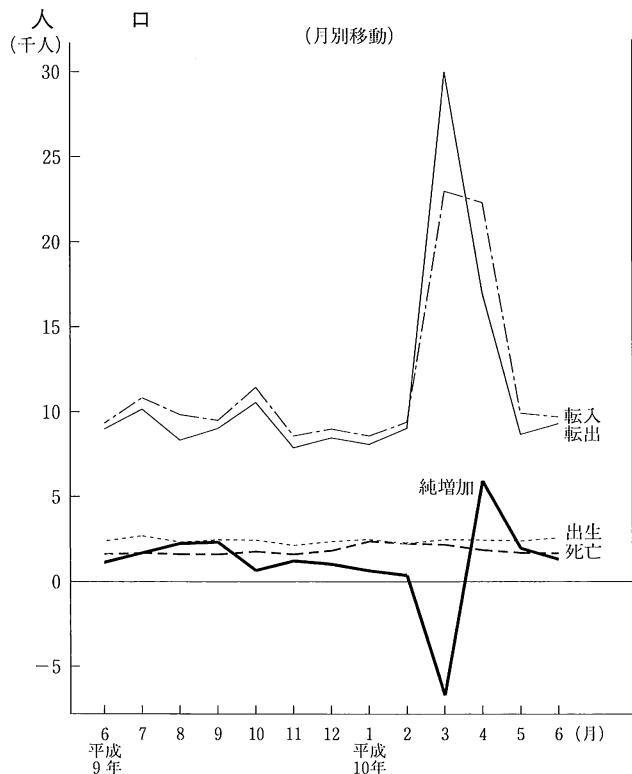


●今月の主な動き

今月の主な動き



■人 口 (10年7月1日)

6月の概況

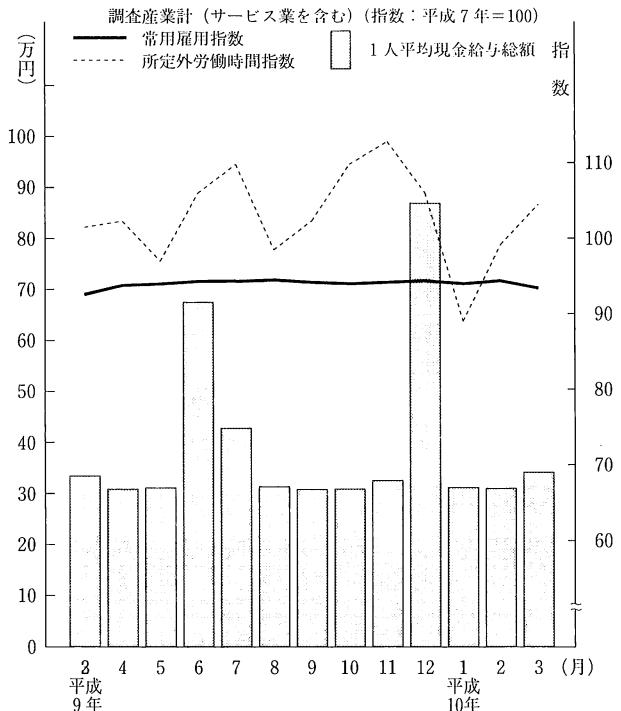
本県の人口は、6月中に1,313人増加し、7月1日現在で2,988,853人（男1,492,310人、女1,496,543人）となった。

内訳は、自然動態で928人（出生2,593人、死亡1,665人）増加し、社会動態で385人（転入9,696人、転出9,311人）増加した。前年同月と比べると12,593人（0.4%）の増加である。

市町村別では、増加が14市35町村、減少が6市28町村、増減なしが2村である。

世帯数についても6月中に1,321世帯増加し969,009世帯となった。

賃金・労働時間・雇用



■賃金・労働時間・雇用 (10年3月)

1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で340,885円、対前年同月比2.0%増、このうち、きまって支給する給与は306,260円、対前年同月比1.7%増であった。特別に支払われた給与は、34,625円であった。

2. 労働時間

3月の総実労働時間は、調査産業計で158.1時間、対前年同月比1.7%増であった。このうち、所定内労働時間は144.2時間、対前年同月比1.6%増、所定外労働時間は13.9時間、対前年同月比3.0%増であった。

3. 雇用の動き

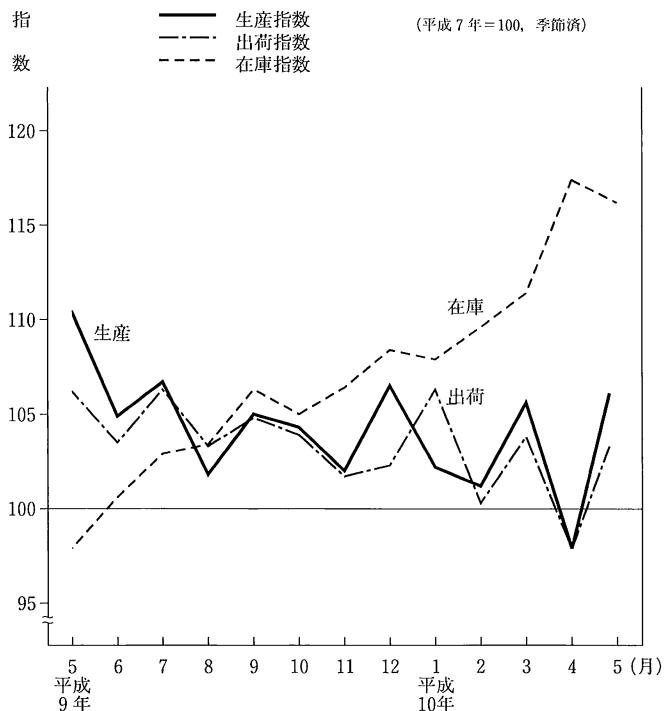
3月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.9%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

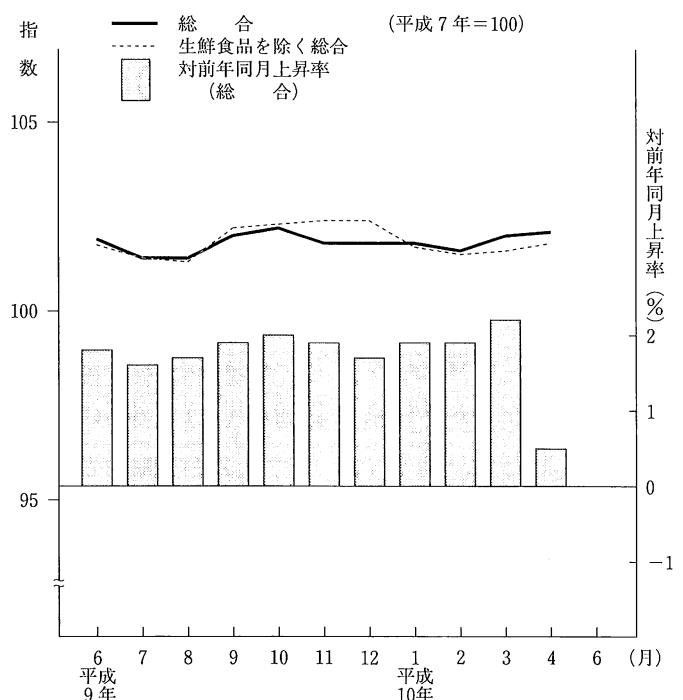
なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

今月の主な動き ●

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (10年 5月)

本県における平成10年5月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で、生産が106.1、出荷が103.3、在庫が116.2で、前月比は、生産が8.4%の上昇、出荷が5.8%の上昇、在庫が1.3%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が3.9%の低下、出荷が2.7%の低下、在庫が18.7%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、電気機械工業、一般機械工業、輸送機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。出荷では、一般機械工業、電気機械工業、鉱業等が上昇し、化学工業、精密機械工業、金属製品工業等が低下した。在庫では、鉄鋼業、金属製品工業、その他工業等が上昇し、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、石油・石炭製品工業等が低下した。財別にみると、生産では、資本財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財、その他用生産財等が低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数 (10年 4月)

平成10年4月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で102.1(平成7年=100)となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比0.5%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……生鮮野菜2.6%，授業料等1.4%，シャツ・セーター類15.3%

今月の下がった主な項目……乳卵類1.4%，生鮮果物7.9%，教養娯楽サービス1.7%

生鮮食品を除く総合は101.8となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比0.3%の上昇であった。

■費目別指数

(平成7年=100)

区分	指 数	上昇率(%)		区分	指 数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.1	0.1	0.5	保 健 医 療	112.4	△0.3	9.8
食 料	103.0	△0.3	0.8	交 通 通 信	98.7	△0.1	△1.1
住 居	102.1	0.0	△0.1	教 育	107.4	1.0	1.0
光熱・水道	102.5	△0.1	△0.2	教 養 娯 楽	98.9	△1.2	0.5
家具・家事用品	96.2	△0.4	△1.1	諸 雜 費	101.2	0.0	0.4
被服及び履物	105.6	4.6	0.3	生鮮食品を除く総合	101.8	0.2	0.3